

科目名	大学生の日本語 A Academic Japanese A		
担当者	保坂 明香 (Hosaka, Asuka) , 清水 澤子 (Shimizu, Sawako)		
開講学期	春学期	単位数	1 単位

授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

参考文献

授業の際に適宜紹介する。

授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,聴く・話す活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,内容理解とともにディスカッションやプレゼンテーションのしかたを身につけることを目指す。

その他(HPなど)

授業計画

1. 授業概要,大学で必要な日本語力とは
2. 聴く・話す技術①-1 導入と資料理解
3. 聴く・話す技術①-2 実践とフィードバック
4. 聴く・話す技術②-1 導入と資料理解
5. 聴く・話す技術②-2 実践とフィードバック
6. 聴く・話す技術③-1 導入と資料理解
7. 聴く・話す技術③-2 実践とフィードバック
8. 聴く・話す技術④-1 導入と資料理解
9. 聴く・話す技術④-2 実践とフィードバック
10. 最終発表の準備① テーマの検討
11. 最終発表の準備② 構成の検討
12. 最終発表の準備③ レジюме・PPTの検討
13. 最終発表と振り返り①
14. 最終発表と振り返り②

授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

成績評価方法・基準

出席および参加度 40%,授業内課題の提出状況および内容 45%, 最終発表 15%,

テキスト

特に指定しない。

科目名	大学生の日本語 B Academic Japanese B		
担当者	金庭 久美子 (Kaneniwa, Kumiko) , 酒井 彩 (Sakai, Aya) , 嶋原 耕一 (Shimahara, Koichi)		
開講学期	春学期	単位数	1 単位

授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

参考文献

授業の際に適宜紹介する。

授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,読む・書く活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,読解力を高めるとともに,レポートや論文を書く際に必要な技能を身につけることを目指す。

その他(HPなど)

授業計画

1. 授業概要,大学で必要な日本語力とは
2. テーマ①-1 導入と共通資料の読解活動
3. テーマ①-2 分担読解とディスカッション
4. テーマ①-3 振り返りと書く技術の導入
5. テーマ①-4 ピア・エディティング活動
6. テーマ②-1 導入と共通資料の読解活動
7. テーマ②-2 分担読解とディスカッション
8. テーマ②-3 振り返りと書く技術の導入
9. テーマ②-4 ピア・エディティング活動
10. テーマ③-1 導入と共通資料の読解活動
11. テーマ③-2 分担読解とディスカッション
12. テーマ③-3 振り返りと書く技術の導入
13. テーマ③-4 ピア・エディティング活動
14. レポートの提出とまとめ・振り返り

授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

成績評価方法・基準

出席および参加度 40%, 授業内課題の提出状況および内容 45%, 小レポート最終版 15%,

テキスト

特に指定しない。

科目名	大学生の日本語 C Academic Japanese C		
担当者	長谷川 孝子 (Hasegawa, Takako) , 清水 澤子 (Shimizu, Sawako)		
開講学期	秋学期	単位数	1 単位

授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

テキスト

特に指定しない。

参考文献

授業の際に適宜紹介する。

授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,聴く・話す活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,内容理解とともにディスカッションやプレゼンテーションのしかたを身につけることを目指す。

その他(HPなど)

授業計画

1. 授業概要,大学に必要な日本語力とは
2. 聴く・話す技術①-1 導入と資料理解
3. 聴く・話す技術①-2 実践とフィードバック
4. 聴く・話す技術②-1 導入と資料理解
5. 聴く・話す技術②-2 実践とフィードバック
6. 聴く・話す技術③-1 導入と資料理解
7. 聴く・話す技術③-2 実践とフィードバック
8. 聴く・話す技術④-1 導入と資料理解
9. 聴く・話す技術④-2 実践とフィードバック
10. 最終発表の準備① テーマの検討
11. 最終発表の準備② 構成の検討
12. 最終発表の準備③ レジюме・PPTの検討
13. 最終発表と振り返り①
14. 最終発表と振り返り②

授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

成績評価方法・基準

出席および参加度 40%, 授業内課題の提出状況および内容 45%, 最終発表 15%,

科目名	大学生の日本語 D Academic Japanese D		
担当者	保坂 明香 (Hosaka, Asuka) , 酒井 彩 (Sakai, Aya)		
開講学期	秋学期	単位数	1 単位

授業の目標

大学における学習,生活に必要な日本語の基本的スキルの獲得を目指す。

テキスト

特に指定しない。

参考文献

授業の際に適宜紹介する。

授業の内容

各学生の日本語力に配慮した形で,読む・書く活動を中心に据えた内容重視型の授業を行い,読解力を高めるとともに,レポートや論文を書く際に必要な技能を身につけることを目指す。

その他(HPなど)

授業計画

1. 授業概要,大学で必要な日本語力とは
2. テーマ①-1 導入と共通資料の読解活動
3. テーマ①-2 分担読解とディスカッション
4. テーマ①-3 振り返りと書く技術の導入
5. テーマ①-4 ピア・エディティング活動
6. テーマ②-1 導入と共通資料の読解活動
7. テーマ②-2 分担読解とディスカッション
8. テーマ②-3 振り返りと書く技術の導入
9. テーマ②-4 ピア・エディティング活動
10. テーマ③-1 導入と共通資料の読解活動
11. テーマ③-2 分担読解とディスカッション
12. テーマ③-3 振り返りと書く技術の導入
13. テーマ③-4 ピア・エディティング活動
14. レポートの提出とまとめ・振り返り

授業時間外(予習・復習)の学習

毎回の授業で周知する。

成績評価方法・基準

出席および参加度 40%, 授業内課題の提出状況および内容 45%, 小レポート最終版 15%,